

Vectorworks 2026 セットアップマニュアル

この度はVectorworks 2026 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

下記のリンクをクリックしていただくと Vectorworks 2026 製品のご使用に関する重要な情報が表示されます。

インストールする前に必ずお読みください。

STEP1:インストール前の確認.....3

インストール必要条件

STEP2:インストール手順について.....5

1. シリアル番号について
2. インストールに関するご注意
3. インストール前の準備
4. Vectorworks製品のインストール

STEP3:起動について.....10

1. Vectorworks製品の起動
2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）
3. オンライナリソースライブラリ情報の更新
4. ライブラリファイルのインストール
5. 移行マネージャについて
6. 操作マニュアルについて

STEP4:アンインストールについて.....18

Vectorworks製品のアンインストール

A. よくある質問.....20

B. 注意点.....21

1. Vectorworksフォルダのアクセス権
2. インストール時に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合

C. 快適にお使いいただくために.....23

1. インターネット接続環境について
2. コンピューターのユーザー名、およびインストール先のフォルダパスについて
3. グラフィックスコントローラについて
4. Iris Plus/Pro/Xeでのご使用について
5. 動作対象外のグラフィックス環境について
6. シェイドレンダリング及びマルチビューについて
7. VRAM（ビデオメモリ）について
8. グラフィックスについて
9. リモート環境および仮想マシンについて
10. インストールについて
11. OSについて
12. 動作の最適化について
13. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度について

14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存について	
15. リアリストックRS動作環境	
16. Showcase機能について	
17. 他社製レンダリングアプリケーションとの連携について	
18. 高解像度ディスプレイについて	
19. サポート対象外の環境について	
D. 各フォルダ/ファイルの役割.....	32
E. 技術情報関連.....	32

STEP1：インストール前の確認

Vectorworks 2026 製品を快適にご使用いただくために、以下の内容をご確認の上、ソフトウェアのインストールを行ってください。

インストール必要条件

Vectorworks 2026の動作環境をご案内いたします。お使いのコンピューター（Mac / Windows）が以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に動作しない場合があります。

Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたコンピューター（Mac / Windows）でご使用になることを強くお薦めします。

Vectorworks 2026 スタンドアロン版

	Windows	Mac	
OS	Windows 11	macOS 26 (Tahoe) macOS 15 (Sequoia) macOS 14 (Sonoma)	
	エントリー	ミドル（推奨）	ハイエンド
目安となるデータの規模	<ul style="list-style-type: none"> ・2D図面 ・簡単な3Dモデリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な2D図面 ・詳細な3Dのモデリング ・小中規模BIM ・レンダリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な2D図面 ・非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング ・大規模BIM ・レンダリング ・Showcase機能を使用したプリビズ
CPU	<ul style="list-style-type: none"> ・Intel Core i5、AMD Ryzen 5、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1以上 <p>※ ARM系プロセッサを搭載したWindows PCはサポートされていません。 ※ AVX2に未対応のCPUではRenderworksを使用できません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6コア以上搭載で 2GHz 以上の Intel Core i7、AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1 Pro 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・8コア以上搭載で 3GHz 以上の Intel Core i7、AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの ・Apple M1 Max 以上
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows: 8GB以上 ・Mac (Intel) : 8GB以上 ・Mac (Mシリーズ) : 16GB以上 	16GB以上	32GB以上
グラフィックス	<p>以下の条件を満たすグラフィックカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows: DirectX 11 互換、2GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily1以上、2GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 16GB以上 <p>※ CPU内蔵グラフィックスは非推奨。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris Plus/Pro/Xeをご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Intel Iris Plus/Pro/Xeシリーズは、単純なモデルや図面には使用可能ですが、専用グラフィックスカードの使用を推奨いたします。 	<p>以下の条件を満たすグラフィックカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows: DirectX 11 互換、4GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily1 v4以上、4GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 Pro 16GB以上 	<p>以下の条件を満たすグラフィックカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Windows: DirectX 11 互換、8GB以上のVRAM ・Mac (Intel) : Metal GPUFamily2以上、8GB以上のVRAM ・Mac (Mシリーズ) : M1 Max 32GB以上

	<ul style="list-style-type: none"> Intel HD Graphics/UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 詳しい情報は、p.24の「4. Iris Plus/Pro/Xeでのご使用について」をご確認ください。 	
ディスク容量	65GB以上（オプションライブラリ42GBを含む） <ul style="list-style-type: none"> インストールには 50GB 以上の空きディスク容量が必要です。 そのうち 20GB は一時的な保存領域として使用されます。すべてのライブラリを含むフルインストールには 65GB 以上が必要です。 フラッシュストレージ（SSD）にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。 	
画面解像度	1440 x 900以上	1920 x 1080以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> インストール、アクティベーション、アップデートのためのインターネット接続環境が必要です。 ご使用にあたりVectorworksアカウントの登録、製品のユーザー登録（永続ライセンスのみ）が必要です。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 日本語OS環境でご利用ください。 コンピューター（Mac / Windows）のユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、2バイト文字（日本語など）を使用しないでください。 p.23の「2. コンピューターのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて」をご参照ください。 リアリストイックRSを利用するレンダリングは、p.29の「15. リアリストイックRS動作環境」をご確認ください。 	

Vectorworks 2026 ネットワーク版 クライアント

動作環境	Vectorworks 2026 スタンドアロン版の動作環境に準じます。 ※ Vectorworks 2026版のVectorworks Site Protection Server（ライセンス管理ソフトウェア）が必要です。
スタンドアロン版との差異	Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。

Vectorworks 2026 学生・教職員向けライセンス（スタンドアロン版準拠）

動作環境	Vectorworks 2026 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン商用版との差異	<ul style="list-style-type: none"> 作成されるファイルはウォーターマーク入りの教育版専用ファイルフォーマットとなります。 使用期限はライセンスの発行承認がされた時点から1年間です。

Vectorworks 2026 教育機関向けライセンス（ネットワーク版準拠）

動作環境	<ul style="list-style-type: none"> Vectorworks 2026 ネットワーク版（アクティベーションタイプ）の動作環境に準じます。 ライセンス管理ソフトウェアの導入が必要です。ライセンス管理ソフトウェアの動作環境は、Vectorworks Site Protection Serverに準じます。
ネットワーク商用版との仕様差異	<ul style="list-style-type: none"> 作成されるファイルは教育版専用のファイルフォーマットとなります。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 追加ライセンスはありませんので、初回導入時に将来的な利用数も見据えた計画導入が必要です。 ライセンス数に上限はありませんが、場合によりご利用方法を確認させていただくことがあります。 ライセンスの持ち出し機能の利用は許可されていません。この機能によりライセンス不足が生じた場合、ライセンスの追加/補充はできません。

記載されている情報は 2025 年 11 月現在のものです。最新の情報は、弊社 Web サイトをご確認ください。

<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2026.html>

ご利用のコンピューターの各スペックの確認には、合わせて以下の Web サイトの情報もご参考ください。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/pc_spec.html

STEP2：インストール手順について

インストールの前に [p.3 の「STEP1：インストール前の確認」](#) をご確認ください。

Vectorworks 2026 およびシリアル番号の取得方法については以下をそれぞれご参照ください。

- スタンドアロン版：製品パッケージ内「Vectorworks ご利用の手引き」
- ネットワーク版：製品パッケージ内「簡単セットアップ」または「セットアップマニュアル」

1. シリアル番号について

- シリアル番号は全 24 術です。
例：EMXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
GMXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「O」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

2. インストールに関するご注意

Vectorworks 製品のインストール作業の前に以下の点にご注意ください。

インストール時のインストールデータのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料は、お客様のご負担となります。

2-1. コンピューターのユーザーアカウントについて

コンピューターのユーザーアカウント名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

Windows の場合は、コントロールパネル > ユーザーアカウントでご確認ください。

Mac の場合は、システム環境設定 > ユーザとグループでご確認ください。

2-2. Vectorworks インストール先のフォルダパスについて

Vectorworks のインストールパスのフォルダ名に 2 バイト（日本語）を使用しないでください。

2-3. フォルダのアクセス権限

インストール先ディレクトリ（アプリケーションフォルダなど）がフルアクセス（読み書き可能）であることが必要です。または、同条件を満たしたユーザー権限（アカウント）でログインされていることも必要です。アクセス権限についての詳しい内容は、[p.21 の「1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点」](#)をご参照ください。

2-4. ストレージのフォーマット

次のドライブフォーマットオプションには対応しておりませんのでご注意ください。

UNIX / MS-DOS / 大文字と小文字を区別（Mac）

2-5. ウィルス対策ソフト等

ウィルス対策およびセキュリティ系ソフトウェアが動作している場合には、すべてを停止した状態でインストールを行ってください。

3.インストール前の準備

インストーラーを起動する前に以下をご確認ください。

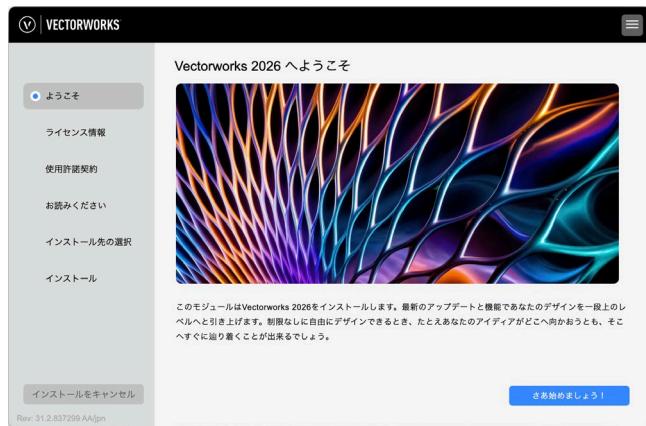
- ※ コンピューターのシステム時計を正確に合わせてください。
- ※ コンピューターを LAN に接続し、インターネットに接続できるかご確認ください。
- ※ コンピューターの言語で「日本語」を選択してください。
- ※ プリンタードライバーをインストールしてください。
- ※ ユーザーアカウント名に 1 バイト（半角英数字）が使用されていることをご確認ください。
2 バイト（日本語文字）の場合は、1 バイトへ変更してください。
- ※ グラフィックスドライバーを最新バージョンへアップデートしてください。（Windows）
- ※ プロキシサーバー環境でご利用の場合は、特別な設定（VWProxy.txt の設定）が必要となります。詳しい内容は、[p22 の「2-2. プロキシサーバー環境で Vectorworks をご利用の場合」](#)をご参照ください。

4.Vectorworks 製品のインストール

Vectorworks 製品のインストール方法をご案内いたします。

- ※ ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップマニュアル.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。
1. 所定の方法で Vectorworks インストールプログラムをローカルフォルダへダウンロードしてください。
ダウンロードが完了しましたら、任意の場所へ展開（解凍）します。
 - ※ ネットワーク版に関しては別途、ライセンス管理プログラムのインストールが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーに添付の「セットアップマニュアル.pdf」および「リファレンスガイド.pdf」をご覧ください。
2. 展開（解凍）したフォルダ内の「Vectorworks 2026 Install Manager」をダブルクリックします。
 - ※ Windows は「Vectorworks 2026 Install Manager.exe」、Mac は「Vectorworks 2026 Install Manager.app」をダブルクリックしてください。
拡張子は OS の設定により表示されない場合があります。
 - ※ Windows はインストーラーをダブルクリックしてから起動までに数分を要する場合がございます。インストーラーをダブルクリック後は起動するまでそのまましばらくお待ちください。

3. インストールダイアログボックスが表示されます。「さあ始めましょう！」ボタンをクリックします。



4. シリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



※ シリアル番号はハイフン込み、英数半角大文字で正しく入力してください。

5. Vectorworks使用許諾契約をよくお読みいただき、ご同意いただける場合は「使用許諾契約の全条項に同意します。」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

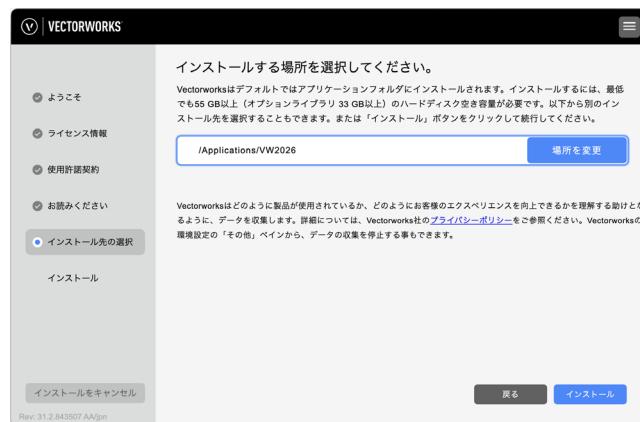


6. 「お読みください」の記載内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



7. インストール先のディレクトリを選択します。

選択後、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。

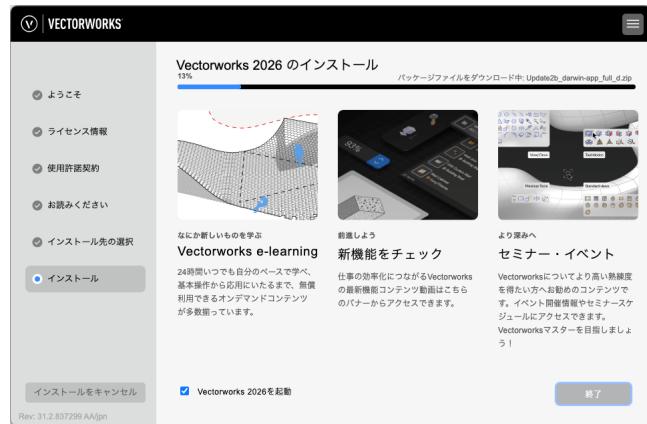


※ Mac はユーザー名とパスワードを求められることがあります。

ログインしている macOS のアカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。



8. インストール中です。



9. インストール完了です。「終了」ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。



- ※ 「Vectorworks 2026 を起動」にチェックを入れると、Vectorworks 2026 が自動的に起動します。
- ※ インストール中に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、[p.21 の B. 注意点「2. インストール時に『License Description File\(LDF\)の取得エラー』が表示された場合」](#)をご参照ください。

STEP3：起動について

Vectorworks 製品をインストール後の起動についてご案内いたします。

1. Vectorworks 製品の起動

1-1. スタンドアロン版

Vectorworks 2026 を起動します。

インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2026

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2026

○ 起動手順

1. Vectorworks 2026 アイコンをダブルクリックします。

初回起動時には、Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。



2. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。

アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。

3. アクティベーションの確認ダイアログボックスが開きます。

4. 「アクティベート」ボタンをクリックすると、Vectorworks 2026 が起動します。

1-2. ネットワーク版

Vectorworks 2026 ネットワーク版のクライアントソフトウェアを起動すると、サーバーソフトウェアと通信を行います。

このため、起動にはサーバー用コンピューターとのネットワーク接続が必要です。

※ ソフトウェアのライセンスを「持ち出し」している場合、期間内はネットワークに接続する必要はありません。

Vectorworks 2026 を起動します。インストール時にインストール先を指定しない場合は、以下の階層にインストールされています。

Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2026_Net

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2026_Net

○ 起動手順

1. Vectorworks 2026 アイコンをダブルクリックします。
2. ログイン設定ダイアログボックスが開きます。
3. ログイン設定を行います。



① プライマリサーバー

ライセンス管理ソフトウェアを起動しているサーバー用コンピューターの情報を入力します。

①-A : サーバー用コンピューターの IP アドレスを入力します。例:192.168.3.20

①-B : サーバー用コンピューターのポート番号を入力します。

デフォルトは 5053 です。

ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に変更している場合は、

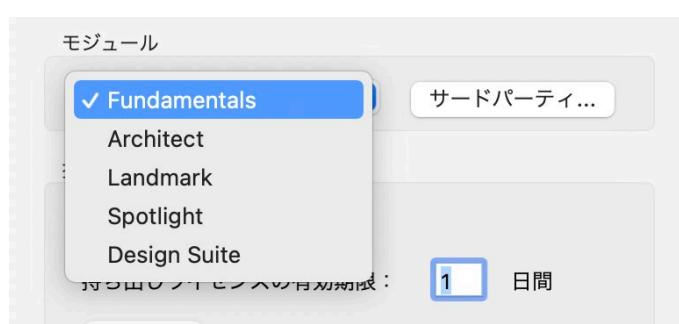
セットアップ時に控えておいた変更後の番号を入力してください。

- ※ 設定により、一時的にネットワークから切り離された環境で使用することもできますが、「持ち出し」機能を使用するには、サーバー用コンピューターの IP アドレスが固定されている必要があります。
- ※ ログイン設定ダイアログボックスの各種設定の詳細について、詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド.pdf をご覧ください。

② モジュール設定

使用するモジュールの選択を行います。

モジュールをクリックすると、プルダウンリストが表示されます。



必要なモジュールを選択します。

何も選択しない状態で「ログイン」ボタンをクリックすると、Fundamentals のみで起動します。

各モジュールは、重複して選択することはできません。

- ※ 利用できるのはライセンスをお持ちの製品のみです。ライセンスをお持ちでない製品は利用できません。
- ※ クライアントで使用できる作業画面は、使用するモジュールによって異なります。初回起動時に警告が出る場合がありますが、そのまま起動してください。

モジュール	使用できる作業画面
Fundamentals	Fundamentals
Architect	Fundamentals、Architect、Architect-BIM
Landmark	Fundamentals、Landmark
Spotlight	Fundamentals、Spotlight
Design Suite	すべて

4. 「ログイン」ボタンをクリックします。Vectorworks 製品が正常にサーバー用コンピューターと通信し、ライセンス管理ソフトウェアが起動を許可すると、初回起動時に Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。
5. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。または各連携アカウントからサインインしてください。
6. Vectorworks 2026 が起動します。

1-3. アップデータ有無の確認

以下の手順でアップデータの有無を確認してください。アップデータが存在する場合、必ず Vectorworks 2026 のアップデートを行ってください。

- ※ アップデータダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

Windows :「ヘルプ」メニュー > 「アップデータを確認」

Mac :「Vectorworks」メニュー > 「アップデータを確認」

アップデートを自動で確認する場合は、アップデートが利用できる場合にのみ通知が表示されます。

自動確認の合間には手動でアップデートを確認できます。

詳しくは Vectorworks 2026 ヘルプの「Vectorworks 製品を更新する」をご参照ください。

2. アクティベーションについて（スタンドアロン版）

スタンドアロン版は、初回起動時、およびご利用を開始してから一定期間経過すると、インターネット経由で認証サーバーへアクティベーション（ライセンス認証）を行います。アクティベーションとは、ライセンスを有効化する手続きであり、濫用を防ぐための仕組みです。インターネット経由で認証サーバーに接続し、ライセンスが有効なものかを確認します。Vectorworks 製品をご使用いただくコンピューターは、アクティベーションの際にインターネットに接続していただく必要があります。

- アクティベーションの有効期間は、最後にアクティベーションを行ってから一定期間保持されます。継続してご使用になるには、有効期間内にインターネットに接続していただく必要があります。常時インターネットに接続してVectorworks 製品を使用している場合は、起動する度、有効期間が自動更新されます。
- Vectorworks 製品を使用する上で、常時インターネットに接続しておく必要はありません。
- セキュリティが強固なネットワーク環境下では、認証サーバーとの接続がブロックされ、アクティベーションできない場合があります。このような環境下における対処方法については、以下をご参照ください。
なお、この対処方法は、ネットワーク設定に関わりますので、予めネットワーク管理者の方に、ファイアウォールやプロキシサーバーの設定についてご確認ください。

インストールプログラムフォルダ > 「Document」フォルダ > 「プロキシ環境でご使用の方へ」フォルダ

<https://www.vectorworks.co.jp/Activation/>

- 本ソフトウェアを一度に1台の（ただし、1台を越えることのない）コンピューターで運用することができます。
- アクティベーション可能な台数は、製品版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台、Vectorworks 学生・教職員向けライセンスは1ライセンスで1台です。
- 製品版のVectorworksは、以下2台のコンピューターにインストールすることができます。
 - (1) 主要なデスクトップ・ワークステーション
 - (2) 携帯型コンピューターまたはユーザー本人の自宅に置かれたコンピューター
- アクティベーションを任意のタイミングで解除することはできません。有効期間終了までお待ちください。また、Vectorworks 製品をアンインストールしてもアクティベーションは解除されません。
- アクティベーションの有効期間は、ツールメニュー > オプション > 環境設定 > その他 > シリアル > 「ライセンス情報」ボタンをクリックすると表示される「認証の期限」で確認いただけます。有効期間が終了しても、再びアクティベーションを行えば継続して使用できます。

起動やアクティベーションに関するトラブルについては、p.20 の「A. よくある質問」と以下の弊社 Web サイトをご参照ください。

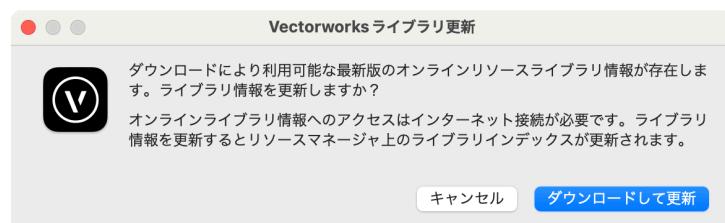
<https://www.vectorworks.co.jp/Activation/>

3. オンラインリソースライブラリ情報の更新

ライブラリファイルはオンラインリソースライブラリから入手することができます。

※ ライブラリの情報更新やファイルダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

1. 初回起動時または起動時に最新版のオンラインリソースライブラリの更新情報が存在する場合、以下のダイアログボックスが開きます。更新を行うには「ダウンロードして更新」をクリックしてください。



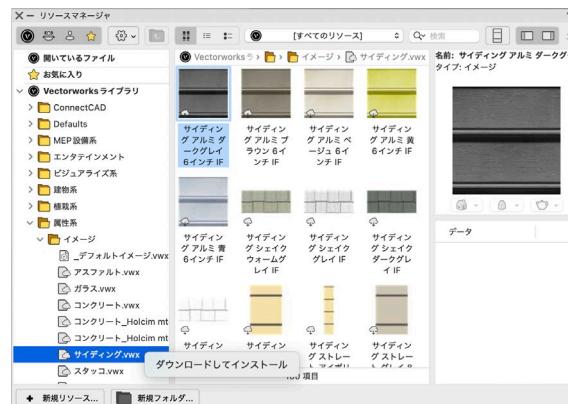
2. ライブライの更新中です。



3. リソースマネージャのライブラリインデックスが更新されました。



4. 任意のライブラリファイルを選択し、ダウンロードしてください。



4. ライブライファイルのインストール

ライブライファイルは Vectorworks Package Manager からインターネット経由でインストールすることも可能です。Vectorworks 2026 の「ヘルプ」メニュー>「オプションライブラリ(ダウンロード)」から任意のライブラリを選択してください。

※ ライブライのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。

5. 移行マネージャについて

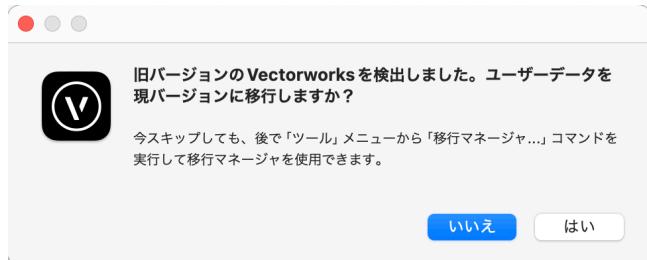
Vectorworks 製品の初回起動時には、移行マネージャが起動します。移行マネージャは旧バージョンの作業環境を引き継ぐことができる機能です。

ユーザーのコンピューターにインストールされている旧バージョンの Vectorworks を検索し、「作業画面」、「テンプレートファイル」、「ライブラリファイル」、「リソースファイル」、「環境設定」を Vectorworks 2026 へ移行します。

移行マネージャは、初回起動時のみではなく、ツールメニュー > 移行マネージャ から任意のタイミングで実行することができます。

1. Vectorworks 2026 が起動すると移行マネージャが自動的に起動します。

移行する場合は、「はい」をクリックします。



2. Vectorworks 移行マネージャダイアログボックスが開きます。「次へ」ボタンをクリックします。



3. 「ユーザーデータの選択」画面が表示されます。

「ユーザーデータの移行元」に、ご使用のコンピューターにインストールされている旧バージョンが表示されますので、任意のバージョンを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



4. 移行可能なデータが表示されます。任意のデータを選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



5. 「作業画面移行オプション」画面が表示されます。任意の移行方法を選択後、「次へ」ボタンをクリックします。



6. 「移行準備の完了」画面が表示されます。「移行」ボタンをクリックします。



7. 「移行の完了」画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックすると移行が完了します。



詳しくは Vectorworks 2026 ヘルプの「Vectorworks 移行マネージャ」をご参照ください。

6. 操作マニュアルについて

Vectorworks 製品をご使用中に、機能や操作についての情報を「ヘルプ」メニュー>「Vectorworks ヘルプ」からご覧いただけます。なお、ヘルプ情報の初期設定はオンラインにて取得されます。通信状況によりオンライン情報が取得できない環境でのご利用時や、環境設定によってはオフライン情報（インストール済みのデータ）をご覧いただけますが、最新情報はオンラインにて提供しております。

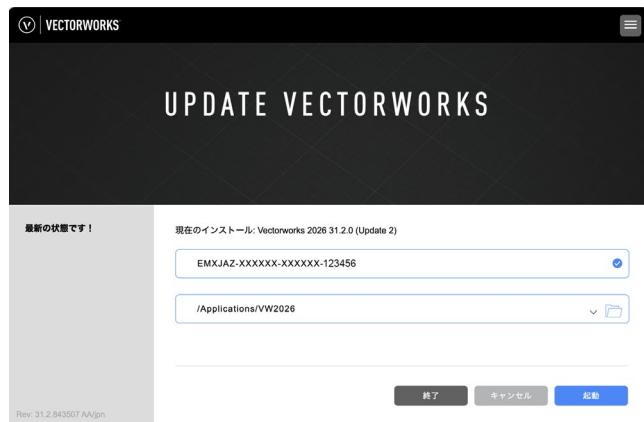
STEP4：アンインストールについて

Vectorworks 製品のアンインストール

以下の手順で Vectorworks 関連ファイル、フォルダのアンインストールを行ってください。

なお、アンインストールを実行してもアクティベーションは解除されませんので、ご注意ください。

1. Windows : 「VW2026」フォルダ > 「Vectorworks 2026 Install Manager」フォルダ > Vectorworks 2026 Install Manager.exe をダブルクリックします。
- Mac : 「VW2026」フォルダ > Vectorworks 2026 Install Manager.app をダブルクリックします。
拡張子は OS の設定により表示されない場合があります。



2. 右上の をクリックし、「アンインストール」をクリックします。



- 削除するオプションアイテムを選択し、「アンインストール」ボタンをクリックします。

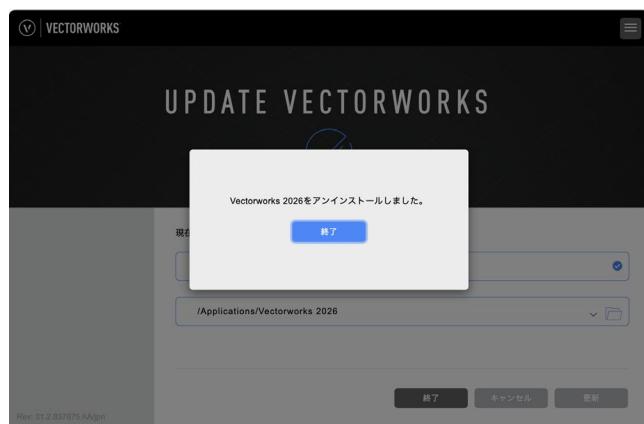


ご注意

- 「ユーザーフォルダ」を削除すると、カスタマイズした作業環境（作業画面・環境設定・テンプレート・共有リソース・ライブラリ）が削除されます。これまでの作業環境を継続して使用したい場合は、チェックを外してください。
- Mac はユーザー名とパスワードを求められることがあります。
ログインしている macOS のアカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。



- アンインストールが完了します。「終了」ボタンをクリックして終了してください。



A. よくある質問

Vectorworks 製品のセットアップに関してよくある質問を以下に記載いたしました。問題の解決にお役立てください。

Q	A
「インストールに失敗しました」と表示される	OS のユーザー名が 2 バイト文字（日本語）を使用すると発生する場合があります。1 バイト文字（半角英数）のアカウントを新規作成し、そのアカウントでログインし直した状態でインストールをお試しください。
インストールが止まる / インストーラーが強制終了する / 「エラーが発生したため、インストールを完了することができませんでした。」と表示される	1. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが、インストールやアップデートを阻害することがあります。 2. マシン管理者権限でログインした状態で、インストールをお試しください。また、フォルダやアプリケーションのアクセス権をご確認ください。アクセス権については、本マニュアル内の p.21 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」 をご参照ください。 また、ご利用のコンピューターのストレージに 65GB 以上の空き容量があるかご確認ください。
追加モジュール（Architect, Landmark, Spotlight, Design Suite モジュール）を購入したが使用できない	<p>スタンドアロン版の場合 モジュール追加購入後は以下の方法で、シリアル番号の更新を行ってください。 Vectorworks を再インストールする必要はありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ツール > オプション > 「環境設定」を選択し、環境設定ダイアログボックスを開きます。 2. 「その他」ペインの「シリアル」ボタンをクリックします。 3. シリアル番号ダイアログボックスを開きます。 4. 「削除」ボタンで現在のシリアル番号を削除し、「登録」ボタンで新しいシリアル番号を入力して登録後ダイアログボックスを閉じてください。 5. Vectorworks を再起動してください。 再起動後、追加したモジュールが利用可能になります。 <p>ネットワーク版の場合 ライセンス管理プログラム上のライセンスファイルの入れ替えが必要です。詳しくはネットワーク版サーバーインストーラーの「セットアップマニュアル.pdf」をご覧ください。</p>
Vectorworks を起動できない Vectorworks の動作が不安定（頻繁に強制終了する / 極端に動作が遅い）	<p>ご利用のコンピューターが Vectorworks の動作環境を満たしているかご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターのユーザー名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、2 バイト文字（日本語など）を使用しないでください。p.23 の「2. コンピューターのユーザー名、およびインストール先のフォルダパスについて」をご参照ください。 2. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが動作を阻害することがあります。 3. p.21 の「1. Vectorworks フォルダのアクセス権」をご参照ください。 4. Windows: グラフィックスドライバーを更新してください。 5. p.10 の「STEP3 : 起動について」をご参照ください。

「このライセンスは許可されたマシンの最大数がアクティベートされているため、Vectorworks をアクティベーションできません」と表示され、Vectorworks を起動できない	ご利用のシリアル番号で利用可能なコンピューターの台数を超えている状態です。このメッセージが表示されたコンピューターでは、Vectorworks を起動できません。使用許諾契約の内容に従い、すでに Vectorworks を起動（アクティベーション）しているコンピューターでご使用ください。使用許諾契約内でご使用いただいているにも関わらず、このメッセージが表示される場合は、テクニカルサポートデスクへお問い合わせください。
Vectorworks をアンインストールしたい	p.18 の「Vectorworks 製品のアンインストール」 をご参照ください。

B. 注意点

1. Vectorworks フォルダのアクセス権

Vectorworks フォルダのアクセス権が正しくないと正常に利用できないことがあります。Vectorworks 製品をインストールした後に、OS 上でフォルダやファイルのアクセス権を制限したり、OS で利用できるアプリケーションを制限したりしている場合は、Vectorworks 製品が起動しないことがあります。

1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点

- インストールの前に、インストール先フォルダ（アプリケーションフォルダなど）のアクセス権が「読み書き可能」になっていることを確認してください。
- インストール後、Vectorworks フォルダとその中に含まれるファイルおよびフォルダのアクセス権を変更しないでください。（「読み書き可能」となっているはずですので、そのままにしてください。）
- マルチユーザーの OS では、あるユーザー アカウントでインストールを行うと、別のユーザー アカウントでログインした際に Vectorworks が利用できなくなることがあります。Vectorworks フォルダが、Vectorworks を利用するすべてのユーザー アカウントで「読み書き可能」となっていることを確認してください。

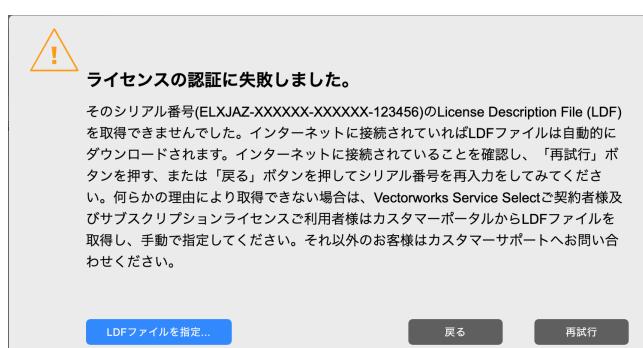
以上は、Vectorworks 製品が動作中に、各種設定などを Vectorworks フォルダ内（その下位のフォルダも含む）に保存するためのものです。正しく保存されない場合は、Vectorworks 製品が正常に動作・起動しないことがあります。

1-2. アプリケーションのアクセス権に関する注意点

- macOS では、ユーザー アカウントごとに、利用できるアプリケーションを制限することができます。Vectorworks が起動できない場合はこの設定も合わせてご確認ください。
- ユーザー アカウントの設定方法や、フォルダ・ファイルのアクセス権の設定方法などは、お使いの OS のマニュアル等をご覧ください。

2. インストール時に『License Description File (LDF) の取得エラー』が表示された場合

Vectorworks のインストールにはインターネット接続が必要ですが、何らかの理由によりインターネット接続が阻害されている場合、下記のようなエラーが表示される場合があります。



上記のような『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、お手数ですが以下の設定をご確認ください。

2-1. ご利用環境のインターネット接続設定やセキュリティ設定について

インターネットに接続されていない、もしくはインターネット接続に何らかの制限が設けられている（セキュリティソフトやファイアウォールの影響など）場合、当エラーが表示されることがありますので、セキュリティソフトの停止や、ネットワーク接続環境の見直しを行ってください。

もしくは、インターネット接続に制限がかかっていない別のネットワーク環境でインストールおよびVectorworksの起動をお試しください。

- ※ プロキシサーバー環境でご利用の場合は、後述の『プロキシサーバー環境で Vectorworks をご利用の場合』をご参照ください。
- ※ ※Vectorworks 利用時のネットワーク接続先情報については、以下の Web サイトの情報もご参照ください。

Vectorworks製品ご利用時のネットワーク接続先情報について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/vw_connectioninfo.html

2-2. プロキシサーバー環境で Vectorworks をご利用の場合

プロキシサーバー環境でVectorworksをご利用の場合は、専用の設定が必要です。

インストーラーに同梱の「ドキュメント」フォルダ内にある、『プロキシ環境でご使用の方へ』内のドキュメントをご参照いただき、必要な設定を行った上でインストールを行ってください。

プロキシサーバー環境でのご利用前の設定手順については、以下ページをご参考ください。

プロキシサーバー環境でVectorworks製品のネットワーク接続機能が利用できない場合の対処方法について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/vw_proxyserver.html

2-3. Vectorworks Service Select（年間保守サービス）のご契約者様、および

Vectorworks サブスクリプションライセンスをご利用の場合

Vectorworks Service Selectご契約者様、およびサブスクリプションライセンスご利用のお客様で、『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合は、『Vectorworks カスタマーポータル』より必要なファイルを直接ダウンロードすることも可能です。

詳しい手順につきましては、以下Webサイト情報をご参照ください。

インストール時に『License Description File(LDF)の取得エラー』が表示された場合の対処方法について

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/get_LDF.html

2-4. 上記の点をお試しいただいても問題が解決しない場合

お手数ですが、以下よりテクニカルサポートまでお問い合わせください。

お問い合わせの際は、必ずお客様のユーザーID、ご契約番号または製品のシリアル番号をご記載の上、エラー表示内容や問題の発生状況等の詳細をお知らせください。

テクニカルサポート お問い合わせフォーム

<https://www.vectorworks.co.jp/Support/mailform.html>

C. 快適にお使いいただくために

本項目では、Vectorworksの開発元であるVectorworks, Inc.の技術情報を元に、Vectorworks 2026を快適にお使いいただくために必要な情報をまとめています。

1. インターネット接続環境について

Vectorworks 2026では、インストールやアクティベーション、起動、アップデート、その他一部機能の利用のためにインターネット接続が必要です。

インターネットに接続できない、もしくはセキュリティ設定等によってネットワーク接続に制限が設けられている環境では、Vectorworksが起動しない、または一部の機能が利用できない場合があります。

ネットワーク接続環境の設定や構築、トラブルの解消などについては、お客様にて行っていただきます。当社ではこれらに関するサポートはいたしかねます。

2. コンピューターのユーザーアカウント名、およびインストール先のフォルダパスについて

コンピューター（Mac / Windows）のユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、**2バイト文字（日本語など）**を使用しないでください。

これらに2バイト文字が使われている環境では、**Vectorworks** が起動しない、もしくは一部機能が利用できないなどの問題が発生する場合があります。

1バイト文字（英数半角）のユーザーアカウント名にて、インストール先のフォルダ名を変更せずに導入、ご利用いただくことを推奨します。

3. グラフィックスコントローラについて

いくつかのVectorworks 2026の機能は、高いグラフィックスハードウェアの性能を必要とします。また、Vectorworks グラフィックモジュール（Vectorworks Graphics Module）が提供するグラフィックのパフォーマンスと品質は、グラフィックカードの速度、メモリ、およびサポートされている拡張機能に直接依存します。これらの機能は、対応したハードウェアで使用すると非常に高速かつ滑らかな操作感をもたらしますが、古い、または適合しないハードウェアで用いると、顕著に動作が遅くなります。

グラフィックスコントローラは以下の3種類があります。

- グラフィックカード：ボードタイプでコンピューターの拡張スロットに増設されています。
- 単体グラフィックス：チップタイプでマザーボード上に取り付けられています。
- CPU内蔵グラフィックス：CPUと一体タイプでCPUに内蔵されています。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris Plus/Pro/Xeをご使用ください。Intel HD Graphics/UHD Graphicsは、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

※ Windows環境でNVIDIAグラフィックスまたはAMDグラフィックスをご使用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

NVIDIAグラフィックス：<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/4636/>

AMDグラフィックス：<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2020/07/6619/>

※ Mac環境でMacBook Proをご使用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/07/4716>

4. Iris Plus/Pro/Xeでのご使用について

Intel製CPU内蔵グラフィックスのIris Plus/Pro/Xe環境でVectorworks 2026をご使用になる場合は、Vectorworks 2026のグラフィックス設定を以下のように設定してください。2D描画時の安定性が向上します。

「ツール」メニュー > オプション > 環境設定 > 画面 > 「グラフィックス処理を加速」のチェックをオフ

5. 動作対象外のグラフィックス環境について

NVIDIA NVSシリーズ/ATI Radeon HD 4550/Intel GMAは動作対象外です。

Intel HD Graphics/UHD Graphicsは、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

6. シェイドレンダリング及びマルチビューについて

OpenGLレンダリングモードは、シェイドレンダリングモードへ名称が変更になりました。MacはMetal GPUFamily1以上、WindowsはDirectX 11互換のグラフィックスコントローラをご使用ください。この要件を満たさない場合は、シェイドモードでレンダリングを実行すると機能が制限され、機能しません。

シェイドの影と輪郭のレンダリングやすべてのウインドウを異なる表示設定で使用するマルチビューはVRAMを大幅に使うため、最低でも2GB、できれば4GB以上のVRAMを必要とします。特に以下の機能を組み合わせて、シェイドの影や輪郭をフルに活用したいと考え、かつ、お使いのグラフィックスコントローラが、2GB未満のVRAMしか搭載していない場合は、グラフィックスコントローラをアップグレードすることをお奨めします。

- 数多くの光源
- 点光源
- イメージ/反射/透過 テクスチャ
- アンチエイリアス
- 高品質の影
- 大量の図形
- 複雑な図形

7. VRAM（ビデオメモリ）について

Vectorworks 2026を十分に動作させるのに必要なVRAMの量は、使用するディスプレイのサイズとファイルの複雑さに依存します。標準解像度が1920 x 1080以下の程度のサイズのディスプレイでは、少なくとも2GBのVRAMを搭載したグラフィックスコントローラを使用してください。30インチ以上などの大きいディスプレイでは少なくとも3GB以上、できれば4GB以上のVRAMを搭載した新しいグラフィックスコントローラを使う必要があります。

マルチディスプレイや高解像度ディスプレイを使用する場合、同じファイルで滑らかさを保つためには、より多くのVRAMが必要になります。

- エントリー：16GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、4GB以上のVRAMを推奨
- ミドル：32GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、8GB以上のVRAMを推奨
- ハイエンド：64GBユニファイドメモリ(Mシリーズ)、12GB以上のVRAMを推奨

8. グラフィックスについて

Windowsのグラフィックス環境について

NVIDIA、またはAMD製のチップを搭載したグラフィックスボードの使用を推奨します。

評価検証済みのグラフィックスボードについては、以下の弊社Webサイトの情報をご参照ください。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

推奨しないグラフィックスコントローラについてはp.3の動作環境「グラフィックス」欄をご参照ください。

ノートパソコン/ビジネス用デスクトップパソコンでは、単体グラフィックスを搭載した機種を推奨します。CPU内蔵グラフィックスに比べ、より高い操作感を得ることができます。

CPU 内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえず CPU 内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris Plus/Pro/Xe をご使用ください。その他（Intel HD 系）は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

※ DirectX 11 互換のグラフィックスコントローラをご使用ください。

なお、グラフィックスコントローラの性能に依存するレンダリングモードの種類についてはp28.の「14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存」をご参照ください。

NVIDIAグラフィックスまたはAMDグラフィックスをご使用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

NVIDIAグラフィックス：<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/06/4636/>

AMDグラフィックス：<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2020/07/6619/>

Macのグラフィックス環境について

- Mac Pro : NVIDIA、またはAMD製のチップセットを搭載したグラフィックカードを推奨
- MacBook関連 / iMac / Mac Mini : 単体グラフィックスを搭載した機種を推奨
- Mac (M シリーズチップ搭載機) : M1 16GB 以上を推奨
- ※ Metal GPUFamily1 以上のグラフィックスをご使用ください。

Apple Mシリーズチップ搭載のMacは一般的な処理とグラフィック処理のためのメモリを共有しています。従来のシステムよりメモリ容量を大きくすることを推奨します。

また、MacBook Proをご使用の場合は、合わせて以下の弊社Webサイトの設定手順もご参考ください。

<https://bim.vectorworks.co.jp/blog/2019/07/4716>

グラフィックスドライバーについて

古いバージョンのグラフィックスドライバーを使用すると、問題が発生する場合があります。Vectorworks 2026を使用する前に、まずグラフィックスドライバーを最新のバージョンへアップデートしてください。

NVIDIAドライバー：<https://www.nvidia.co.jp/Download/index.aspx?lang=jp>

AMDドライバー：<https://support.amd.com/ja-jp/download>

動作確認済みのグラフィックスコントローラについて

以下のサイトで、動作確認済みのグラフィックスコントローラをご案内しています。

https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

9. リモート環境および仮想マシンについて

Vectorworks 2026は、リモート環境および仮想化環境で動作します。動作環境に記載の条件を十分に満たすリソースがVectorworksに与えられていれば仮想化技術を使用して運用することができます。

リモート環境および仮想化システムを使用するには、お客様ご自身で仮想化システムのための環境構築を行っていただか、外部のIT専門業者等に依頼して環境を整えていただく必要があります。当社ではシステム環境の構築や設定、トラブル等のサポートはいたしかねます。

Vectorworksはグラフィカルなアプリケーションであるため、高品質のグラフィックスサポートが必要となります。動作環境に記載の推奨グラフィックスをご参照いただき、仮想GPU(vGPU)をご検討ください。Vectorworksが仮想化環境で正常に動作するには、十分なグラフィックサポートが必要です。

十分なネットワーク環境（広帯域幅、低レイテンシ）も仮想化環境でVectorworksを快適にお使いになるためには重要です。

※ ネットワーク版を仮想化環境で利用するには、特別なお手続きが必要です。新規導入をご検討のお客様は弊社営業部まで、または現在ご利用中のお客様はカスタマーサポートデスクまでお問い合わせください。

10. インストールについて

- スタンドアロン版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のコンピューターにインストールできます。ただし同時起動はできません。
- ネットワーク版クライアント及び教育機関向けライセンスはインストール台数の制限はありません。
- Vectorworks 学生・教職員向けライセンスは1ライセンスで1台のコンピューターのみインストールできます。
- Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。
- スタンドアロン版、学生・教職員向けライセンスの起動にはインターネット経由のアクティベーションが必要です。
アクティベーションに関する詳しい情報やトラブルシューティングについては、[ソフトウェアのライセンス認証について](#)をご参照ください。
- サイレントインストールでの導入は推奨していません。サイレントインストールを行う場合は、自己責任において実施してください。
- ※ サイレントインストールに関する参考サイト（英語）：
<https://forum.vectorworks.net/index.php?/articles.html/articles/how-to/installation/command-line-installation-of-vectorworks-2026-r945/>

11. OSについて

アップデートについて

リリース時にご案内しているOS（オペレーティングシステム）のバージョンを最低動作環境として推奨します。

OSに起因する問題が発見された場合には、問題解決の最初の手順として、OSのアップデートをお願いする場合があります。

32bit OSについて

Vectorworks 2026は64bitアプリケーションです。32bit OSには対応しておりません。

12. 動作の最適化について

- 大容量のファイルと複雑なレンダリングモードを用いて作業する場合、最低でも16GBのメモリを搭載して使用することを強く推奨します。メモリの容量が不足すると、Vectorworks 2026は仮想メモリを使用することで動作し続けますが、ハードディスクにアクセスするため動作速度は著しく低下します。また、メモリの容量が極端に不足すると、十分なメモリ容量があれば完了する操作の場合にもエラーが発生する場合があります。
- 高速なストレージを使用することで、仮想メモリ使用時にシステムの動作速度を若干向上させることができます。
- CPUのクロック速度が高速であるほどVectorworks 2026の操作感が向上します。
- インストールに必要なハードディスクドライブの容量は、プログラムのみで23GB必要です。オプションライブラリのインストールには、さらに42GB必要となります。オプションライブラリの一部をインストールしないことで、容量を削減することができます。

13. プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度について

ネットワークを通じてプロジェクト共有作業を行う場合、Vectorworks 2026のパフォーマンスはネットワーク回線の速度に左右されます。ネットワーク回線速度が十分でない場合は、プロジェクトファイルに変更を反映させる操作やローカルのワーキングファイルの更新操作など、ネットワーク越しに大量のデータを送信するような操作を実行すると、速度が低下します。

最低でも100Mbpsの速度のネットワーク回線の使用を推奨します。大きなプロジェクトの場合は、高速で、滑らかな動作を得るために、1Gbpsの速度のネットワーク回線を強く推奨します。遅いネットワーク環境でも、大量のデータを送信する操作を最小限に抑えることで十分ご使用いただくことができます。

※ プロジェクト共有機能は、Fundamentalsでは利用できません。

クラウドストレージを使用するプロジェクト共有には、高速インターネット接続（50Mbps以上）が必要です。この共有方法は、小規模なチームやプロジェクトで効果的です。大規模なチームやプロジェクトにはお勧めできません。プロジェクトの共有には一般的に高速ネットワーク接続が必要ですが、ネットワークを介して大量のデータを転送する操作（プロジェクトファイルへの変更の反映やローカルの作業ファイルの更新など）を最小限に抑えることで、十分な操作感が提供されます。DropboxでLAN同期を有効にすると、速度が大幅に向上することが期待できます。これは、プロジェクト共有のためのクラウドベースの共有ソリューションとして推奨されます。

異なる帯域幅およびプロジェクトファイルサイズに対する反映および更新動作中のデータ転送時間の例を以下の図に示します。

プロジェクトファイルサイズ	ネットワーク回線速度 (ダウンロード/アップロード)	反映/更新 データ転送時間
100MB	50Mbps	~20s
	100Mbps	~10s
	1Gbps	~1s
500MB	50Mbps	~100s
	100Mbps	~50s
	1Gbps	~5s
1GB	50Mbps	~200s
	100Mbps	~100s
	1Gbps	~10s

プロジェクト共有サーバー 2026 動作環境

	Windows	Mac
OS	Window 11 Windows Server 2016 以上 ※32bit OS は非対応	macOS 26 (Tahoe) macOS 15 (Sequoia) macOS 14 (Sonoma) macOS 13 (Ventura) macOS 12 (Monterey) macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.12 (Sierra)
		※プロジェクト共有サーバーは、ネットワーク接続ストレージ (NAS) デバイスなどの Docker をサポートする任意のシステムにもインストールできます。 上記以外の OS 対応状況については、弊社 Web サイト (https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2026.html) をご確認ください。
CPU	64-bit Intel Core 2 Duo 以上	
メモリ	4GB 以上	
ネットワーク環境		推奨 : 1Gbit/s のイーサネットネットワーク (最小 : 100Mbit/s のイーサネットが必要です。アップロード時は最低 50Mbit/s) 同一 LAN 上で共有する場合、サーバーベースの共有を推奨します。 プロジェクト共有サーバーが使用するネットワークポートをファイアウォールで許可する必要があります。デフォルトのポートは 22001 です。 ネットワークは HTTP 1.1 standard をサポートする必要があります。
その他		フラッシュストレージ (SSD) にインストールすることで動作速度が向上します。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ※ プロジェクト共有機能は、Vectorworks Fundamentals では利用できません。

14. 画面表示と各種レンダリングのハードウェア依存について

Renderworksレンダリングでは、Maxon社製のCinewareエンジンを使用しています。Cinewareは完全に64bit化されているため128GB以上のメモリや、Renderworksレンダリングモードでマルチコア（複数CPUコア）を活用することができます。シェイド、ワイヤーフレーム、隠線レンダリングはCinewareエンジンを用いていないため、Renderworksレンダリングほどメモリを消費しません。

下表に、レンダリングモードの種類と、レンダリング操作を行う際にプロセッサ（CPU）を使用するか、グラフィックスコントローラ（GPU）を使用するかを示しています。

レンダリングモード	グラフィックスコントローラ(GPU)	プロセッサ (CPU)
2D / ワイヤーフレーム	使用	使用 - シングルコアで動作
シェイド	使用	不使用
隠線	不使用	使用 - マルチコアで動作
仕上げポリゴン / シェイドポリゴン	不使用	使用 - シングルコアで動作
簡易Renderworks / 仕上げRenderworks / カスタムRenderworks	不使用	使用 - マルチコアで動作

上表からわかるように、グラフィックスコントローラのリソースを使用するレンダリングモードはシェイドとワイヤーフレームのみです。他のレンダリングモードはグラフィックスコントローラに依存しないため、グラフィックスコントローラをアップグレードしても、シェイドとワイヤーフレーム以外ではレンダリング速度や品質は向上しません。（注意：レンダリングモードではありませんが、

グラフィックスコントローラは2D/平面ビュー、および通常の2Dナビゲーショングラフィックスに直接影響します)

逆に、各種Renderworksレンダリングモードは主にCPUを使用し、マルチコアを使用することができます。このため、これらのモードでレンダリング速度を向上させるには、より上位のCPUにすると効果的です。

ワイヤーフレームモードは、グラフィックスコントローラのアップグレードと、よりパワフルなCPUの両方で効果がありますが、グラフィックスコントローラに依存する度合いが高くなります。

RenderworksはAMDおよびIntel CPU上でAVX2をサポートする必要があります。AVX2サポートのない古いCPUが搭載されたコンピューターではRenderworksは動作しません。

15. リアリストイックRS動作環境

Redshiftレンダリングスタイルは、リアリストイックRSレンダリングスタイルへ名称が変更になりました。

「リアリストイックRS」レンダリングスタイルは、コンピューターのGPUとCPUを使用してフォトリアリストイックレンダリングを実行します。

動作要件を満たす場合、リアリストイックRSはコンピューターのGPUをレンダリングに使用します。GPUが要件を満たさない場合は、コンピューターのCPUのみがリアリストイックRSレンダリングの実行に使用されます。

リアリストイックRSが利用可能かどうかはリアリストイックRSスタイルの編集ダイアログボックスに表示されるメッセージで確認できます。リアリストイックRSを選択しているが使用できない場合、代わりにリアリストイックが使用されます。

リアリストイックRS動作環境

GPU を使用				
	Windows		Mac	
	最小	推奨	最小	推奨
OS	Windows 11		macOS 14 (Sonoma)以降	
メモリ	8GB	16GB	・M シリーズ: 16GB ・Intel Mac: 16GB	・M シリーズ: 32GB 以上 ・Intel Mac: 16GB 以上
グラフィックス	8GB 以上の VRAM を搭載した CUDA5.0 以上の NVIDIA の シングル GPU	16GB 以上の VRAM を搭載した CUDA7.0 以上の NVIDIA の マルチ GPU	Apple M1、もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi、あるいは Vega 以降の シングル GPU	Apple M1 Max 以上、もしくは 8GB 以上の VRAM を搭載した AMD Navi、あるいは Vega 以降のマルチ GPU

CPU のみ使用		
	Windows	Mac
OS	Windows 11	macOS 14 (Sonoma) 以降
CPU	SSE2 対応のプロセッサ (Pentium4 以上)	Apple M1 以上
メモリ	8GB 以上	・Intel Mac: 8GB 以上 ・M シリーズ: Apple M1 および 16GB 以上

※ 記載されている情報は2025年11月現在のものです。

リアリストイックRSをサポートしているAMD GPUは以下の通りです。

○ **MacBook Pro**

Radeon Pro Vega 16/20

Radeon Pro 5500M/5600M

○ **iMac**

Radeon Pro Vega 48

Radeon Pro 5500XT/5700/5700XT

○ **iMac Pro**

Radeon Pro Vega 56/64

○ **Mac Pro**

Radeon Pro Vega II / Vega II Duo

Radeon Pro W5500X/W5700X

Radeon RX 6800/6800XT/6900XT

Radeon W6800X MPX

○ **Thunderbolt eGPUs**

Radeon RX Vega 56/64

Radeon Pro WX 9100

Radeon VII

Radeon RX 5500/5500XT/5600XT/5700/5700XT

Radeon RX 6800/6800XT/6900XT

Radeon W6800X MPX

16. Showcase機能について

Showcase はシェイドレンダリングモードを使用し、通常多くの照明を使用するため、最高のユーザーエクスペリエンスを得るために高いフレームレートが必要です。Showcase で高品位のレンダリングを体験するには、動作環境の「ハイエンド」に準拠したハードウェアを推奨します。

17. 他社製レンダリングアプリケーションとの連携について

Vectorworks 2026 は、リアルタイムレンダリングアプリケーションの Lumion、Enscape、Twinmotion、Omnivers、D5 Render と連携して利用することができます。

これらの他社製レンダリングアプリケーションは、それぞれ独自のハードウェア要件が設けられています。

ご利用の際は、Vectorworks 2026 の推奨動作環境と合わせて、連携するアプリケーションの要求スペックもご考慮ください。

詳しくは、各リンク先の情報（外部サイト/英語）をご参照ください。

Lumion:

<https://lumion.com/product/system-requirements>

Enscape:

<https://enscape3d.com/system-requirements/>

Twinmotion:

<https://dev.epicgames.com/documentation/ja-jp/twinmotion/hardware-and-software-specifications-for-twinmotion>

Omniverse:

<https://docs.omniverse.nvidia.com/>

D5 Render:

<https://www.d5render.com/specs>

また、連携先のアプリケーションの操作方法等につきましては、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

18. 高解像度ディスプレイについて

Mac には Retina ディスプレイや 5K ディスプレイを、Windows には 4K ディスプレイを搭載している機種があります。これらの機種で Renderworks レンダリングを行うと、画面の解像度に合った高精細なレンダリングを行うことができます。反面、生成するピクセル数が多くなるため標準的なディスプレイと比較すると 3~4 倍のレンダリング時間が必要となります。

19. サポート対象外の環境について

以下の環境は Vectorworks 2026 ではサポートしていません。

- ARM プロセッサ (Windows)
- Linux
- Chrome OS
- モバイル OS
- Windows Server OS

D. 各フォルダ/ファイルの役割

ファイル / フォルダ	役割
Vectorworks 2026 (.app/.exe)	ソフトウェア本体です。
Plug-Ins (フォルダ/.vsm/.vst/.vso 他)	Vectorworks 製品専用のプラグインが入っています。 Vectorworks 製品本体と同じ階層上に必要です。
Workspaces (フォルダ/.vww)	ツール、メニューの構成が記載された作業画面 (Workspaces) が入っています。Vectorworks 製品本体と同じ階層上に必要です。
VWHelp (フォルダ/.xml 他)	Vectorworks ヘルプと VectorScript Function Reference が [html] 形式で入っています。
Libraries (フォルダ/.vwx 他)	「リソースマネージャ」で利用するライブラリファイルが入っています。また、定型化したクラスとレイヤを含むテンプレートファイル、新規ファイルを開いた時に使用するテンプレートファイルが入っています。
Plant Database (フォルダ)	植栽のデータベースが入っています。(Design Suite、または Landmark をご利用の場合のみ使用可能です。)
InstLog.txt (書類)	Vectorworks 製品、プラグインなどをインストールした記録 (ログ) が入っています。
その他のファイルやフォルダ	それぞれ Vectorworks 製品が利用するファイルやフォルダです。

※ ご注意

「Plug-Ins」フォルダと「Workspaces」フォルダ、その他インストールされた書類は"絶対に"必要なものです。これらがないと、Vectorworks は起動しません。

E. 技術情報関連

Vectorworks 製品を快適にご使用いただくための情報や、出荷時点での既知の障害、仕様上の制限事項をご案内いたします。

最新の情報は、弊社 Web サイトにて、隨時ご案内しています。

ベクターワークスジャパン Web サイト：<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/VW2026.html>

以上

ベクターワークスジャパン株式会社

2025.12.19

©1985–2026 Vectorworks, Inc.

□Vectorworks, Renderworks, Braceworks, ConnectCAD と V Design without limits ロゴは Vectorworks, Inc.の登録商標です。

□SmartCursor と VectorScript は Vectorworks, Inc.の商標です。

□Vision は Vectorworks, Inc.の製品です。

□Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標
または商標です。

□Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

□Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

□その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

□その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

□本書に記載されている一部または全部を無断で転載する事は禁止されています。

□製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。